学校番号	３０２４

令和２年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂　地学基礎（第一学習社）						
副教材等	七訂版　スクエア最新図説地学（第一学習社） 改訂版リード Light ノート地学基礎（数研出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然の現象に関心をもち，積極的にそれらを探究し，自然を総合的にとらえる見方や考え方を身につけてほしい。そのために、授業に積極的に参加し、目的意識を持って実験・観察を行い、レポート作成等を通して、グローバルリーダーとして主体的に考える力を養うことを期待する。

２ 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。

・宇宙の誕生と地球の形成について観察，実験などを通して探究し，宇宙と惑星としての地球の特徴を理解させる。

・変動する地球について観察，実験などを通して探究し，地球がプレートの運動や太陽の放射エネルギーによって変動してきたことを理解する。また，地球の環境と人間生活とのかかわりについて理解する。

３ 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地質時代とその区分	先カンブリア時代 古生代① 古生代② 中生代 新生代① 新世代②	○	○			a：地質時代における生物界の移り変わりのようすに関心をもち，地球のおいたちを意欲的に探究しようとしている。 b：地球の酸素濃度や二酸化炭素濃度のグラフから，生物の進化や絶滅について考察することができる。 c： 海水面の変化を示すグラフを判読し，氷期・間氷期の繰り返しと，海水面の下降・上昇の変化との関係を確認することができる。 d： 先カンブリア時代から新生代第四紀までの，地球環境の変化と生物界の変遷を理解し，知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
	復習と演習	私たちの宇宙の進化①		○		○	b:２年次に学習した内容についての課題に対して思考し、判断できる。 d: ２年次に学習した内容を理解し、知識として身に付け、活用できる	
2学期	復習と演習	私たちの宇宙の進化②		○		○	b:２年次に学習した内容についての課題に対して思考し、判断できる。 d: ２年次に学習した内容を理解し、知識として身に付け、活用できる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		私たちの大地		○		○		
		私たちの空と海・地球のこれから		○		○		
3学期	総合演習	総合演習1		○	○	○	b: 既習内容を身の回りにあるものと、結び付けて考える。 c:身の回りの事象から、地学に関する内容を読み解き、地学的な洞察ができる。 d: 環境・災害等の社会問題に対し、その内容を理解し、地学と関連付けた知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート
		総合演習2		○	○	○		
		総合演習3		○	○	○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。